

## 第5回佐倉市都市マスタープラン策定懇話会 議事録

日 時	令和2年12月18日（金）午前10時00分～午前11時35分
場 所	佐倉市役所 議会棟1階 全員協議会室
出 席 者	原 慶太郎会長、塚田 雅二委員、鈴木 尚委員、松浦 健治郎委員、友崎 彰委員、木内 寛之委員
事 務 局	都市部長 小野寺 正朋、都市計画課長 菅澤 雄一郎 平野 昌彦副主幹、林田 洋子主査、橋本 和喜主査 木勢 直孝主任主事 株式会社パスコ3名
会議次第	1. 開会 2. 議事 佐倉市都市マスタープラン（序章から第5章まで）について 3. 閉会
配布資料	（資料1）佐倉市都市マスタープラン策定懇話会委員名簿 （R2.3.13～） （資料2）第4回会議の意見・質問と回答一覧 （資料3）事前意見・質問と回答一覧、計画案に対する意見・質問と回答一覧 （資料4）佐倉市都市マスタープラン（序章から第4章まで）（案） （資料5）佐倉市都市マスタープラン 第5章 計画の実現に向けて（案） 参考資料1 都市マスタープラン見直しについての意見募集 参考資料2 SDGsと都市マスタープランとの関係性 参考資料3 都市マスタープランとSDGsの関係表
傍 聴 者	4人

【議事録】

発 言 者	内 容
事 務 局	<p>【議題説明】 資料4 佐倉市都市マスタープラン（序章から4章まで）（案）</p>
会 長	<p>第3章までの内容で、特にSDGsのことが加わり、それぞれ明記いただきましたが、何かご意見やご質問がありましたら、お願いいたします。</p>
木内委員	<p>SDGsの考え方については、総合計画でも今回から新たに取り組まれているようなので、それと整合を取っていただいて、市としてそれに向けて実現をしていこうという意気込みがあるということで示していただければと思います。</p>
会 長	<p>松浦委員、事前説明でSDGsについて唐突な感じがあったというご意見をいただき、それを踏まえた修正がありましたがいかがですか。</p>
松浦委員	<p>大丈夫だと思います。</p>
会 長	<p>まだ十分に浸透している考えではないと思うので、その辺りを上手く説明していただければと思います。それから、それぞれの計画のところで、該当するSDGsの目標のマークを入れていただきましたが、まだ要検討のところもあるとのことでしたので、委員の方でお気づきの点があれば、後程事務局にお伝えいただければと思います。 それでは第4章について、市民説明会なども踏まえて文言等の修正、加筆をいただきましたが、何かご質問やご意見があればお願いいたします。地域別方針で、それぞれの地域ごとの説明と、今後の方針が示されておりますけれど、いかがでしょうか。</p>
塚田委員	<p>志津地域にユーカリが丘という言葉を入れてほしいとこの前の会議で申しましたけれど、市民説明会ではそういった意見は出ておりませんか。</p>
事 務 局	<p>志津地域という用語にユーカリが丘を入れてほしいという意見は、説明会や意見募集の中ではありませんでした。</p>

発 言 者	内 容
塚 田 委 員	<p>そうですか。私のところに、何故一番人口が増えているユーカリが丘を入れてくれないのかという意見がきておりますので念のために聞きました。</p>
会 長	<p>事務局、何かございますか。</p>
事 務 局	<p>ユーカリが丘について地域の概況として、志津駅、ユーカリが丘駅が整備されているという点と、ユーカリが丘周辺は市内で唯一、都市計画上の高度利用地区の指定もあるため、大型店舗、高層マンション等が立ち並ぶという部分について特に記載をさせていただいているところです。</p>
会 長	<p>塚田委員よろしいですか。</p>
塚 田 委 員	<p>この地域分けは昔の形からきているのですが、今、ものすごく発展しているのはあの地域なのです。人口もありますし、我々の会員もそこに多いのですが、その言葉を表現の中に何か、例えば、「志津・ユーカリが丘地域」というようにしていただければいいなと考えています。</p>
会 長	<p>おそらくこの地域区分の考え方は、都市マスタープランに限らず、市の他の部門でもこの分け方を取っているということで、これを入れていただいたのだと思うのですが、ここだけで変えるわけにはいかないと思います。他の地域は、例えば佐倉・根郷にしても、佐倉と根郷という地区名が入っているのですが、ユーカリという名前が入ったらということなののでしょうか。そういうお気持ちもあろうかと思うのですが、先程申したように、佐倉の他の色々な行政で使われている単位をそのまま使っているのです、こういった形になろうかと思えます。ここでそこを変えるというのはなかなか難しいことだと思います。先程ご説明いただきましたけれど、具体的なところの表現で対応いただくということで進めていただければと思います。</p>
事 務 局	<p>合併当初の旧町村の、元々あったコミュニティの単位で、総合計画もずっとこういった形でやってきて、今は総合計画では地域の分けは</p>

発 言 者	内 容
	<p>なくなってきているのですが、都市マスタープランの方はやはり土地利用をベースにしているのですが、こういったエリアで分けさせていただいています。名前については会長からご指摘がありましたとおり、ご意見ということで賜らせていただいて、内部の方でも改めて検討をさせていただきたいと思います。</p>
会 長	<p>他にご意見、ご質問はありますか。</p>
松 浦 委 員	<p>地域資源の文章のところはいいのですが、地域資源の数の表が気になっています。佐倉城址公園など色々書いているのですが、歴史的な施設が書かれていないので、例えば「地域資源（公共施設）」とか、公共施設に限定するとこれくらいの数になりますよといった表記の仕方にしていただいた方がいいのかなというのが1点。</p> <p>もう1点は、和田・弥富地域の将来像の「交流が広がる」という部分について、最近のトレンドとしては、交流人口もいいけれど、関係人口が大事だということを総務省などが言っています。今はコロナの関係で和田・弥富地域に行けないけれど、和田・弥富地域のことを考えてくれている人、そういう関係人口を増やしていくといったニュアンスを少し入れてはどうかと思います。交流というと上辺だけのところがあって、観光客が時々行ってというくらいのもを示すことがあるのですが、もっと和田・弥富地域のことを考えてくれている人を増やすみたいなニュアンスにならないかなという気がしました。</p>
会 長	<p>事務局、いかがでしょうか。</p>
事 務 局	<p>地域資源の数については、どういう視点でこれを挙げているのかわかるような表現にしたいと思います。和田・弥富地域の将来像については、交流人口のみならず、関係人口が大切というご意見をいただきましたので、表現について内部で検討させていただければと思います。</p>
会 長	<p>是非入れ込めるようお願いいたします。他にご意見、ご質問があればお願いします。</p>
友 崎 委 員	<p>弥富地区について、「地域コミュニティの維持、活性化を図る」と</p>

発 言 者	内 容
	<p>あります。僕は弥富の方に障害の方のサービスで行っているのですが、この地区は青年団、消防団、婦人会があり、どんど焼きも3箇所で行っており、現状で地域コミュニティの維持、活性化が図られています。新規就農者も入っていて、その方たちが地域コミュニティに参加するという非常にいい状況になっています。</p> <p>それから根郷地区についてですが、根郷地区で絶対に語らなくてはいけないのは、生涯教育の寿大学です。今年はコロナで休学になってしまいましたが、50周年になります。50年というと、市民カレッジが今年28回生ですから、その倍近くの歴史があるのです。地域特性として、生涯教育に熱心です。高齢者も多いですが、そういうことを申し述べたいと思います。</p>
会 長	<p>現在も具体的に活動が行われていることがあるので、それを書き加えるということだと思いますけれど、事務局、いかがでしょうか。</p>
事 務 局	<p>弥富の方でも風習などが守られていたり、根郷の方では寿大学といった地域のコミュニティに帰するようなものが今も続いていて、地域特性として記載されるとよりいいということで、意見としていただきました。都市マスタープランとしては土地利用などを含めて、ハード的な部分が色濃く、どこまで表現できるかわかりませんが、内部で検討させていただければと思います。</p>
会 長	<p>よろしく願いいたします。他にご質問、ご意見はありますか。</p>
木 内 委 員	<p>第1回目の時の説明で、都市マスタープランとは、ということで資料をいただきました。そこには住民の意見を反映して、中長期的な視点からまちづくりの将来ビジョンを確立し、地域別のあるべき将来像を示すということが書かれていました。やはりこの都市マスタープランの肝というのは、地域別のあるべき将来像をいかに具体的に示すかということだと思います。今回、都市マスタープランで歩いて暮らせる、歩いて楽しいというようなコンセプトを全体的に打ち出している中で、例えば七五三でお参りをした後に近くで会食するような場所がもっと多かったり、他に見るところがあったらすごくいいなと思います。</p> <p>佐倉の成り立ちや歴史、文化からすると、佐倉地区は特に自然に集</p>

発 言 者	内 容
	<p>まってくる要素があるまちだと思います。市民の方からの意見でも「図書館建設と並んで、新町の活性化について、プロジェクトチームと地元の方との話し合いの場を設けてほしい。」ということで、例えば立地適正化計画の中でも、佐倉地区については、都市機能誘導区域ということで、商業的な施設を持ってくるというようなことが書かれています。あるいは都市再生整備計画の中で城下町周辺地区ということで、そこを重点的にやっていきますよという計画が示されていたり、あるいは公共交通網形成計画の中で、まちづくりと連携した路線の運行ということで示されていたり、あるいは佐倉市観光グランドデザインの中で観光ダブルコア構想として、古民家の有効活用としてその地区が出されていたり、あるいは佐倉市の景観計画の中で新町地区景観形成重点地区として示されていたりと、すでに佐倉としてこの都市マスタープランだけではなく、佐倉市全体として歴史や文化といったものを重点的にやっていくという視点の中でやはり佐倉地区が自ずとメインとして表れてきます。</p> <p>ある程度人口密度が密集していたり、投資していく部分というのは限られてくる中で、これから都市計画を考えるときにどこを重点的にやっていくのかは非常に重要だと思っています。市としては佐倉市全体を満遍なくやっていきたいという気持ちは当たり前のことだと思うのですが、ここ何年かで色々な状況が変わって来たり、これからの人口減少社会で税収が減っていく中で、どこを重点的にやるかということ示していかないといけない時代だと考えました。ですので、他の地区が何もしなくていいというわけではなく、佐倉地区での取り組みについて佐倉市としてしっかりとやっていきますよということ、根拠は沢山あるので、示していければいいのではないかと考えました。他の計画や今進んでいる計画などもあえて載せていってもいいのではないかと思います。</p>
会 長	事務局、いかがでしょうか。
事 務 局	<p>確かに歴史や文化であったり、自然であったり、あとは工業団地を持っていたり、色々なまちづくりの要素が一番揃っているのが佐倉・根郷地域であると思うところはあるのですが、それぞれの地域の個性というものを活かしたまちづくりの方針というのが根底にございまして、それぞれの個性を特徴的に資料として作っていききたいという</p>

発 言 者	内 容
	<p>ころがございます。その中でどういったところに力を入れていくのかということにつきましては、個別計画の中で打ち出していければいいという事で、都市マスタープランの方では地域ごとにどういった特徴、個性があるまちづくりを進めていくのかという視点の記載を現時点では考えております。</p>
木内委員	<p>色々な地域に住んでいる方がいらっしゃるの、何故ここだけという話はあると思います。計画が明確に書かれていなくても、何らかの形で周知していく必要があるのかなと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
会 長	<p>木内委員、佐倉・根郷地域の将来像について、何か加えるべきところとか、この中に文言として入れた方がいいようなところが具体的にあれば後程で結構ですので事務局にお伝えいただければと思います。他にご意見、ご質問はありますか。</p>
塚田委員	<p>新町地区の電柱の地中化までは粛々と進めてこられたのですが、確かに最近特に空き店舗が出来てきています。成田山の表参道もしょっちゅう店が変わっていますが、空きがあってもすぐに次に入ってくる人がいる。だから1週間に何度かしかいかない人たちには、空き店舗などはないというように見えます。佐倉の場合、結局後継者問題が一番悩んでいるところです。空き店舗を上手く貸すなりしてくれればいいのですがそのままになってしまう。少し前に新町のスーパーが閉店する段階で、日用品や生鮮食品を買いに行く所がないという話を受けました。やはり地元の商店を育てないのです。車を運転するうちは遠くに行って、地元の商店は商売にならないという状態で、車が運転出来なくなると、佐倉は城下町で坂が多いので地元の商店を育てなかったからだということを書いて、だいぶ論争したことがあるのです。木内委員がおっしゃることは肝に銘じております。何とかしないとけないと思っておりますのでご協力をお願いします。</p>
会 長	<p>引き続き商工会の方でよろしくお願いいたします。他に第4章まででご質問、ご意見があればお願いいたします。</p>
松浦委員	<p>佐倉・根郷地域の公共交通利用圏の状況の図を見ると、JR佐倉駅</p>

発 言 者	内 容
	<p>の南東部分で人口密度が100人以上いるエリアがあるのですが、そこが公共交通利便地域とかにかかっていないので、ここを何とかしなくてはいけないのではないかと思います。同じように、志津地域についても志津駅の南側辺りに人口密度が100人以上のところは、公共交通利便地域に入っていません。この辺りを本当は入れなくてはいけないと思うのですが、都市計画的には集約をしていくので、そういった人口密度が高いところも将来的には人は住まないでくださいというメッセージなのではないでしょうか。</p>
会 長	<p>都市マスタープランとして大事な点だと思いますが、事務局いかがでしょうか。</p>
事 務 局	<p>松浦委員のご指摘のとおり、あくまでもこれは現状のバス停や鉄道駅から、半径何mという円で括って、この円の外側の部分はいわゆる交通空白地域と言われている地域なのですが、市街化区域の中で、どうしても道路が狭かったりバス路線から外れていたりといった地域で、点々ところいった地域が見られます。</p> <p>公共交通網形成計画の中でも点々と飛んでいる公共交通空白地域を課題として捉えております。ここに将来的に人を住まわせないようにするというのではなく、現状こういったことになっていますということでお示ししているもので、公共交通網形成計画の方でも引き続き検討を進めていくことを考えております。</p>
松 浦 委 員	<p>現状はわかりましたけれど、例えば今の案のところ、人口密度が結構高いのだけれど、交通空白地域がいくつかありますよという話は、本当は文章に入れておかななくてはいけないかなと思います。客観的にそう見えますから、今後の課題として挙げられるとか、それくらいの内容は入れないとおかしいのではないかなという気がします。</p>
事 務 局	<p>表記の方法については、改めて検討の方をさせていただきたいと思います。</p>
会 長	<p>よろしく願いいたします。他にご質問、ご意見はありますか。</p>
木 内 委 員	<p>佐倉図書館の話が今回新しく出てきています。私は個人的には図書</p>



発 言 者	内 容
	<p>館は今計画している場所でいいと思っています。宮崎県の都城市でも既存の施設をリノベーションして図書館を中心市街地に拠点として置いたという事例があります。記事で都城市長が「中心市街地エリアでも商業機能を再生するのは難しい」というのを読みましたが、行政が出来ることとして、そこを拠点として図書館を置くことによって、塚田委員がおっしゃったように商店街でなかなか店舗が増えていかない中で、行政が先に策を打って、人が集まる雰囲気を作りながら周りの商店街を盛り上げていくのだと。図書館だけの話ではなくて、新町エリア全体の活性化の話の中で、あの位置の方が、今後の新町の商店街や商業、都市機能誘導区域としても適切な位置なのかと思っていますが、その中で書き方として地域の活性化を図るためというのは少し曖昧なのかなと感じています。具体的に、エリアマネジメントの話も松浦先生から以前ありましたけれど、そういった図書館だけの話ではなく、エリア全体の波及効果ということを見通した上で考えているのだと。それがやはり先程も言ったように、新町の都市再生整備計画の中でも、既に明確に書かれているのです。そういったところをもう少し、この都市マスタープランに出して行って、ここは色々と議論のあるところなので、しっかりと説明出来るような形で示していった方がいいのかなと思いました。</p>
会 長	<p>何か具体的なお提案などはありますか。</p>
木 内 委 員	<p>都市再生整備計画にも書かれていますけれど、公共公益施設の集積による拠点性の向上です。図書館だけではない機能が付加されることによって、色々な人が集まってくる要素が出てきますよと、それは周りの商店街にも影響してくるのですよということを絡めて書かないと図書館だけの話になってしまうので、計画案については、ここをもっと具体的に書いた方がいいのかなと思います。それとプラスして交通ネットワークという話は、やはり拠点の意味合いなのかなと思っていますので、そこまで書けたら非常にいいのではないかとはい思います。</p>
事 務 局	<p>この件も含めて個別にご意見をいただいた部分について、表記の関係についてはそれぞれ各委員と相談させていただき、ご意見を伺いながら、前後の他の地域との表現内容と合わせて検討させていただきたいと思っています。</p>

発 言 者	内 容
塚 田 委 員	<p>今、木内委員の話にもありましたが、新町は市立の美術館があるので、美術館と図書館の相乗効果で商店街が活性化するのではないかと期待しています。</p>
会 長	<p>図書館と美術館を拠点としてとか、そういった形の流れになろうかと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>他にご質問、ご意見があればお願いいたします。</p>
木 内 委 員	<p>これからのまちの在り方として、ひとつの市で完結することは段々と少なくなってくる時代なのかなと思っています。県の計画で佐倉市と酒々井町がひとつの区域となっているところが起点になっています。今は分断されていますが、歴史的に見ると佐倉市と酒々井町は、本佐倉城や成田街道沿いの武家屋敷などが連なってきた歴史があって、前の計画から今回の計画までに日本遺産の認定だとか、あるいは酒々井町と合同でマップを作ったということも書かれていますし、どこの市と限定するわけではありませんが、近隣の市と広域で連携して何かをやっていくというところをもう少し明確にしてはどうでしょうか。</p> <p>佐倉市はこのエリアでは中心となってやっていきますよという姿勢を佐倉市側から出していくということも、せっかくだからここで佐倉市が歴史的なまちとしてこのエリアを背負って立つという意味を込めて、広域的な視点も持って取り組みますよということ、分野別の方針の方で入れていただくといいのかなと思いました。</p>
会 長	<p>以前からご意見をいただいている件かと思えますけれど、事務局いかがでしょうか。</p>
事 務 局	<p>近隣市との連携についてのご意見について、ひとつは、近隣自治体とのアクセスといった点を重要な視点として捉え、分野別方針の都市交通において、佐倉市内での交通だけではなくて、近隣自治体の鉄道駅も含め、拠点のアクセスの向上といったものを図っていくべきではないかということについて、近隣との物理的な連携の方策のひとつとして記載をしています。</p>

発 言 者	内 容
木内委員	<p>そこに入れてあるのはいいと思います。都市の魅力向上に関する方針の中で、ここが今回の計画の肝だという話も前にあったと思うので、歴史文化資産の話が出ている中に項目をひとつ設けて、この広域連携というものの話や酒々井町との話などについて、何か入れられるものがあればなと思いました。</p>
会 長	<p>引き続きご検討をいただき、木内委員からも何かご提案があれば事務局の方にお伝えください。</p> <p>他にご質問、ご意見があればお願いいたします。</p> <p>(意見・質問なし)</p>
会 長	<p>それでしたら、第4章までのところは、事務局の方でも今日の議論をもとにして整理していただければと思います。</p> <p>序章から第4章の地域別方針につきまして、このような内容でまとめるということをここでご了解いただくということによろしいでしょうか。</p> <p>(意見・質問なし)</p>
会 長	<p>ではそのような形で、事務局の方で進めさせていただきます。</p> <p>続きまして「第5章 計画の実現に向けて」につきまして、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事 務 局	<p><b>【議題説明】</b></p> <p>資料5 佐倉市都市マスタープラン（第5章 計画の実現に向けて（案））</p>
会 長	<p>第4章までの計画を具体的に実現するための方法が書いてあると思います。何かご意見、ご質問があればお願いいたします。</p>
鈴木委員	<p>本論から少し離れますけれど、いくつかアルファベットで記号化された文章が出ております。PPPとかPFIとか、ICT、PDCAサイクル、その下にPLAN、DO、CHECK、ACTの解説が出ておりますが、非常にフォーマットが高すぎてよく理解出来ません。初めてみ</p>

発 言 者	内 容
会 長	<p>るような言葉もありますし、これを全てマスターしないと、この第5章は完結しないのでしょうか。</p> <p>一般市民の人たちにも理解を求めているのならば、全体に言えることですが、こういう表現は避けた方がよろしいのかなと思います。都市計画を決めるには、学術用語みたいなものを羅列するのではなく、市民側に立ったような表現をした方が理解を得られるのではないかと思います。</p> <p>具体的な表現についてご意見を伺いましたけれど、事務局いかがでしょうか。</p>
事 務 局	<p>都市マスタープランにつきましては、住んでいる方にも広く知っていただきたいというようなまちづくりの計画となりますので、なるべく平易で理解されやすいようなものにはしたいと思っております。</p> <p>ただどうしても、専門用語とまではいかないのですが、アルファベットやカタカナが出てきてしまうものについては、最終的には注釈や用語集といった説明で、その計画書だけを見てご理解いただけるような形での工夫はしていきたいと思っております。</p>
鈴 木 委 員	<p>この都市マスタープランを解釈するに当たっての別冊資料みたいな、字引というか、五十音順やアルファベット順に並べたようなものを、読む人のために付ける予定だということですね。それでも理解出来づらいところは出てくると思います。本来の日本語で置き換えられるところはその方がいいと思います。学術論文を読んでいるような気分にもなってしまうから、その辺の配慮をした方が市民のためにはよろしいのかなと思います。</p>
会 長	<p>略語などを使わざるを得ない言葉もあり、最後に用語集を付けるのはもちろんだと思うのですが、本文に唐突に出てくるのは奇異な感じがするので、その章の初出のところに日本語の対応する訳をつけるなど、是非そこはお願いしたいです。専門家の方には当たり前の言葉かと思うのですが、そのようにお願いします。</p>
友 崎 委 員	<p>人材の育成とありますが、佐倉市には座学が4つ、それから傾聴の大学2つと6つも市民大学があるのです。それは歴史もありますし、</p>

発 言 者	内 容
	<p>市民カレッジ、市民大学、コミュニティカレッジ、寿大学、国際文化大学、消費者大学と、これらの歴史があり、かなりの人数の方がそこで学んでいます。それがやがて発展して印旛沼ネットワークとか、LINEトラベル.jpの特別賞をもらったひよどり坂の竹垣、まちなみをきれいにするとか、そういうことに繋がっているのです。特に4年生の市民カレッジは日本で2つしかないそうです。佐倉市と宇都宮市です。これがかなりの人数で、もう28回生を迎えていますので、カレッジ卒業生だとかが、かなりボランティア団体でも活躍しています。このカリキュラムに都市マスタープランの説明みたいなことを入れて、協力、参加を仰ぐといったことが必要ではないかと思います。僕もカレッジと市民大学と、あとは寿大学だけで全部の履修が終わります。ボランティア団体を3つもやっておりますから、そこで学んだことを活かしています。行政や都市マスタープランなどをカリキュラムに入れてもらえればより理解が深まると思います。</p>
会 長	<p>私も市民カレッジと、国際文化大学で講演させていただいたことがあるのですが、非常に皆さんご熱心で、ある意味大学の講義よりも緊張した記憶があるのですが、是非この都市マスタープランなりそういった事柄についても取り入れていただくように、事務局の方で働きかけをお願いしたいと思います。</p>
事 務 局	<p>まちづくりの計画は、まず知っていただくということが大事だと思いますので、見直し後の計画の周知という意味でご意見として承りたいと思います。</p>
会 長	<p>他にご質問、ご意見があればお願いします。</p>
木 内 委 員	<p>この「計画の実現に向けて」というのは、これを見ても佐倉市のものかどうかかわからないです。佐倉市らしさの文言が一切出てこない。どこの市でもこれは全て通用する文言が並んでいるのかなと思います。だから鈴木さんが言うように学術的な話になって具体的なイメージが湧かないので、少し論文のようになっているのかなと思います。</p> <p>友崎さんが言われたように、やってきていることと結び付けたり、佐倉市ならではの周知の仕方というのをもっと具体的に書いていった方がいいと思いますし、計画を一生懸命作っていても実現化の方策</p>

発 言 者	内 容
	<p>が弱いと、やはり計画だけの話になってしまうのかなということもあるので、ここの中で今取り組んでいることと極力結びつけていく方がいいと思います。</p> <p>あとは主体を明確にしていく方がいいのかなと思います。例えば行政がやるべきことなのか、民間がやるべきことなのか、市民がやるべきことなのかといったことを項目立てていってもいいのかもしれませんが、これからはやはり行政がやれることが段々と限られてくる場合もあると思います。民間が動きやすいような文言、PFIやPPPなどが書いてあっても何となく書いてあるだけという形で、こうやって書いてあるから民間がもっとやりやすいというような、これからの官民連携に向けたような文言があると、民間側も例えば公園整備でPFIとここに書いてあるから積極的にやっていけるというような形にも出来ますし、そういった佐倉市ならではの文言だとかを入れていった方がいいのかなと思いました。</p>
事 務 局	<p>計画の実現に向けてというところなので、なかなか佐倉らしさというところが難しいのかなというところもあるのですが、今ご意見をいただきましたように、周知の部分だったり民間活力だったりという部分のところ、また個別にご意見を伺いながら表記の方は検討させていただければと思います。</p>
会 長	<p>私も今のやり取りを伺って思いましたが、10年前なり20年前であればこの通りでよかったのですが、既にこれは動いているわけです。そうすると市民が主体のまちづくりの推進を今までどうやってきて、どういうところをこれから補強していくということがないと、最初にこれを作る時の文言そのままのような感じがするのです。そういう意味では、友崎委員が言われたような具体的に走っているところが色々あるわけですから、具体的に名前を出すか出さないかは別にして、それを取り入れた書き方をしないと、このまま市民に提示したら同じような意見が出てくると思いますので、是非そこはもう少し書き込んでいただければと思います。</p>
木 内 委 員	<p>学校教育の分野で取り組まれていることとか、例えば小学生だったら、「わたしの佐倉市」で学んだりだとか、そういったものに取り入れていくこともあると思います。歴史文化の話であれば日本遺産に認</p>

発 言 者	内 容
会 長	<p>定されたことによって、学校の中でもそういったものを周知していたり、それが都市計画にまるっきり当てはまることはそんなにないのかもしれませんが、そういった取り組みがまちを作っていくのだということは、今までも佐倉は特にやってきていると思います。そういったものを入れていくと、色々な世代に対して周知活動を行います、あるいはこれから行っていきますという姿勢がより出てくるのではないかと感じました。</p> <p>是非ご検討をお願いします。松浦委員、PDCAに関してお考えがあるようですが、こういった形で取り入れることについてはいかがですか。</p>
松 浦 委 員	<p>このPDCAサイクルは都市マスタープランの進行管理ということですよ。私はどちらかというと個別の事業というか、例えば道路空間の再配分でいうと、ある道路の車道を社会実験的に歩行者空間や滞留空間にして色々なイベントをしてみて、市民のアンケートだとかでどれくらい賑わっているのかとか、効果を測定して具体的に道路の再整備をする、実際の計画に入っていくみたいな、そういうアクション志向型のまちづくりみたいなものが、今は日本でも結構あるし、アメリカでもかなりやられているのですが、そういう時代に来ているような気もしていて、その辺りを書いたらどうかという話をしました。社会実験という形で書いていただいたので、これでいいかなと思います。</p>
会 長	<p>更にご検討をいただければと思います。ここもおそらくこの状況、コロナが終わってこの後どうなるかによると思うのですが、予測できない部分もあると思いますので、硬直的なマスタープランではなく、適応的に変えていくといった柔軟性も持ち合わせないといけないと思いますので、その辺りも含めて、PDCAならその中に、今までとは違うのだと。PDCAはあくまでも品質管理の考え方なので、それをここに活かすのかどうかというのはまた別の議論があると思うのですが、少なくともそういった柔軟性を持たせるということは是非お願いしたいと思います。</p> <p>他に何かご意見、ご質問があればお願いいたします。</p>

発 言 者	内 容
塚 田 委 員	<p>民間企業の資金力云々と書いてありますが、これから税金がどうなるかわかりませんが、税収がなくなると民間を活用していかなくてはいけないと思うのです。その辺をもう少し強く打ち出してほしいなと思っております。そうすると、企業あるいは民間も携わりやすくなると思いますので、法律みたいに書かれているだけというようにとられるのではなく、これだけのことをやってほしいということを出してほしいのです。</p>
会 長	<p>これは文章も、「維持管理を行うほか」となっているから、それだと付け足しみたいに見えるので、特出して民間の協力を得るとするか、資金力を得るような形の書きの方がいいのではないかと思います。是非ご検討よろしく願いいたします。</p> <p>他にご意見、ご質問があればお願いします。</p>
鈴 木 委 員	<p>この第5章がまとめになるのですか。第6章はありますか。</p>
会 長	<p>今日の目次の時点では「第5章 計画の実現に向けて」が最後になっておりますけれど、事務局いかがでしょうか。</p>
事 務 局	<p>第5章が最後になりまして、実際の冊子としては、これを作るに当たっての資料であったり用語集であったりというのが後ろに付くイメージ、本編としてはこれが最後というような、そういう構成で考えています。</p>
鈴 木 委 員	<p>これが最後だとすると、これだけ厚い資料を理解するに当たりましては、先程、用語集というようなものを作ったらどうかという意見を述べましたけれども、例えば91ページを見ていただきますと、上の2行、これが全てなのです。今まで皆で議論した第4章までのものを実現に向けてこういう事をするよと、そういうことです。そうなる中この中に書いてある、例えば一番上の行です。「次の方向性でこれまでに掲げた分野別方針、地域別方針」という言葉で括ってありますけれど、この辺に注釈を設けまして、この4章までの間に、分野別方針が一体どこに載っているのか、地域別方針がどこに載っているのか、そこを見てくると、そのような、何とか索引のようなものを付けていただくと、一般市民の方も理解がしやすいと思います。以下、逐一</p>



発 言 者	内 容
会 長	<p>言いませんが、他に色々な文章が出てくれば、そういったものを付けておくと、尚更この4章までの内容を理解できるのではないかなと思います。</p> <p>最後、PDCAで締めくくっているのですが、ここまで試しにやってみようかという提案なのですか。</p> <p>これはこの章で初めてですが、この計画自体をこういう形で計画を策定して実施して点検して見直しというサイクルをこの期間内におきたいということだと思います。</p>
鈴木委員	<p>実験として、PDCAを行うのでしょうか。</p>
会 長	<p>実験というよりも、これの具体的な進め方として、こういう形で見直しを含めながら行う。実験というよりはこういった形でやるという意味表示だと思います。</p>
塚田委員	<p>第5章については、この場で細かいところはやらなくても良いのですよね。</p>
会 長	<p>第5章につきましては、この会議を踏まえまして委員の皆さまからご意見をいただいて、更に充実させて次の会にお諮りするということになりますので、もう一度全体を見渡していただいて、後程ご意見を事務局の方にお伝えいただければと思います。</p> <p>個人的な意見ですが、鈴木委員からいただいた意見も踏まえて、やはり90ページに渡るこれまでの計画のことを考えると、ここに第4章までの要約が入って、それでこの第5章だけを見ればちゃんと何をやるかがわかるような書きぶりの方がいい気がします。</p> <p>次に私の最後の意見なのですが、せっかくSDGsが入ったわけですよね。本当であればSDGsから始まったら全部SDGsから入らないといけないのに、あとから出てきたという感じがまだ残っているので、その辺りも前向きに検討いただければと思います。</p> <p>全体にわたりましてご意見や何かございますか。</p> <p>このSDGsによってすごくいいプランになったと思います。前回の都市マスタープランからすごいグレードがあがった提案で実現し</p>
友崎委員	<p>このSDGsによってすごくいいプランになったと思います。前回の都市マスタープランからすごいグレードがあがった提案で実現し</p>

発 言 者	内 容
会 長	<p>たと思っております。</p> <p>そういうことですので、是非魂を入れるようにしないといけないと思います。引き続き検討をお願いいたします。</p> <p>他にご意見、ご質問はよろしいでしょうか。</p> <p>(意見・質問なし)</p>
会 長	<p>では、今日のところは議論も尽くしたようですので、事務局におかれましては、本日の議論を基にして、資料の作成をお願いしたいと思います。これで第5回佐倉市都市マスタープラン策定懇話会を終わります。どうもありがとうございました。</p> <p>次回は都市マスタープラン全体の案の取りまとめとなりますので、委員の皆さま方には引き続きご協力の程をよろしくお願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>